



突風 暮らし直撃

台風10号本県被害



強風で紳士服店の大型看板落下、駐車していた軽乗用車が敷きになった。28日午後2時8分、宮崎市大塚町(猪八重後撮影)

竜巻とみられる突風の影響で吹き飛び散らした屋根瓦。28日午後3時23分、宮崎市佐原町石崎2丁目(米丸慎撮影)



宮崎テクノリサーチパークでは工場や倉庫の屋根が剥がれたり、事業所の窓ガラスが割れたりした。28日午後2時40分、宮崎市佐原町東上那珂(中西透撮影)

県内が台風10号の強風域に入った28日午後、宮崎市佐原町で突如発生した竜巻とみられる突風は家屋の屋根や瓦を吹き飛ばし、樹木をなぎ倒すなど大きな被害をもたらした。30日の最接近を前に強まる雨脚の中、住民らは復旧など応急対応に追われ、公共交通機関にも乱れが生じた。各地の状況を写真で伝える。



突風の影響が、境内で倒木の被害があった広瀬護国神社。28日午後2時2分、宮崎市佐原町下那珂(川越裕夫撮影)

08:25	JAL 2434	12:10	JAL 690	10:25
11:45	JAL 2438	16:00	JAL 692	12:25
14:25	欠航	JAL 2440	18:10	欠航
16:05	欠航	JAL 2442	19:15	欠航
17:05	欠航		JAL 696	16:45
20:45	欠航		JAL 698	欠航

宮崎テクノリサーチパークでは工場や倉庫の屋根が剥がれたり、事業所の窓ガラスが割れたりした。28日午後2時40分、宮崎市佐原町東上那珂(中西透撮影)

スマホ向けアプリ市場 新法執行

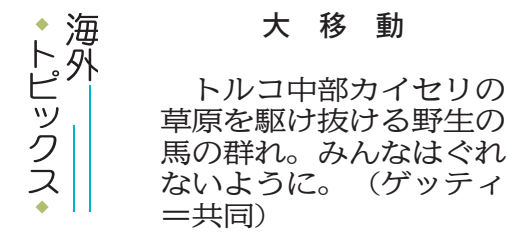
巨大IT規制へ新部署

公取委、来春にも50人規模

アプリ市場の独占を規制する新法「スマートフォン特定ソフトウェア競争促進法」の執行を主に担うのは現在14人で35人の増員を求める。25年度の概算要求は、24年度当初予算に比べ43%増の174億円を計上する。

公取委は独禁法や下請法を運用して企業の経済活動を取り締まってきたが、24年6月に成立し、25年までに本格的に施行する新法を所管することから体制の拡充が必要と判断した。海外の独占禁止当局との連携も強化する。

新法はスマホ利用に特に必要な基本ソフト(OS)や、アプリを入手するためなどに禁止事項を定めたデジタル市場法(DMA)を全面的に適用。100人規模で運用している。英国も同様の法律を200人規模で執行する方針で、公取委は今後も人員増強を検討する可能性がある。



海外 トピックス

大移動
トルコ中部カイセリの草原を駆け抜ける野生の馬の群れ。みんなはぐれないように。(ゲッティ=共同)

日本 (公正取引委員会)	欧州 (欧州委員会)	英国 (競争・市場庁)
特定ソフトウェア競争促進法	デジタル市場法	デジタル市場競争・消費者法
14人→50人規模に拡充へ	100人規模	200人規模に向け増員中

独居死 高齢者2.8万人

警察庁まとめ 1〜6月の76%

今年1〜6月に自宅で死亡した1人暮らしの人は、一孤死・孤立死の実態把握の一環として警察庁が把握の開始。政府が対策の議論に活用する。

警察庁によると、1〜6月に全国の警察が取り扱った遺体は10万2965人で、全体の4分の1以上が85歳以上が74098人で、最も多。75〜79歳が5920人、70〜74歳が5635人、80〜84歳が5544人、65〜69歳が3733人と続いた。男女別では、男性が2万5630人、女性が1万1578人、性別不詳が19人。都道府県別では478人の東京をはじめ、神奈川県など首都圏や大阪に多い傾向がみられた。本県は318人で、うち65歳以上は256人だった。

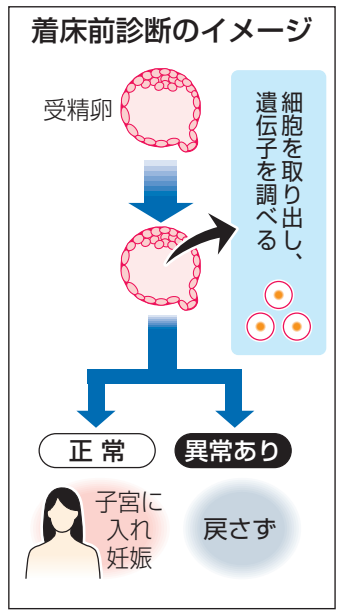
着床前診断 58件承認

23年 対象拡大、目のがんも

学会初公表

日本産科婦人科学会は28日、重い遺伝性の病気が子どもに伝わらないよう、体外受精した受精卵の遺伝子を調べる「着床前診断」について、2023年に計72件の申請を審査し、うち58件を承認し発表した。うち22年の対象拡大の件数は初めて。

前回の承認は、体外受精した受精卵のうち異常のないものを子宮に戻す「命の選別」につながる。学会は従来の懸念もある。学会は従来、成人までに亡くなったり、日常生活を著しく損なったりする可能性がある重い遺伝性の病気に限定して認められてきたが、18年に生命に関わることは少ない膜芽細胞腫の患者から申請があったことが契機となり、対象拡大の議論が進んだ。



着床前診断では、体外受精させた受精卵のうち異常のないものを子宮に戻す「命の選別」につながる。学会は従来の懸念もある。学会は従来、成人までに亡くなったり、日常生活を著しく損なったりする可能性がある重い遺伝性の病気に限定して認められてきたが、18年に生命に関わることは少ない膜芽細胞腫の患者から申請があったことが契機となり、対象拡大の議論が進んだ。

大学女性教員 過去最多27%

文科省24年度調査
国公私立大学の女性教員数(5月1日時点)は5万3441人で過去最多となり、教員全体に占める割合も最高の27.8%だったことが28日、文科省の調査(速報値)で分かった。学部在籍の女子学生数(120万5652人)と全体に占める割合(45.9%)も、過去最高だった。

女性教員数は1994年度の1万3879人(約10%)から、30年で4倍近く伸びた。文科省担当者は「女性の社会進出が進み、大学や大学院に進学する女性も増えたことが影響している」と説明した。

本県の女性教員数は264人で全体(1055人)に占める割合は25.0%、学部在籍の女子学生数は4811人(全体9270人)で48.3%だった。